



【特集：ディペンダブルなシステムの構築・運用・管理技術】

- 特集「ディペンダブルなシステムの構築・運用・管理技術」の編集にあたって 西村浩二 他
- 自己完結型変換と重複除外による動的リンク問題の抑制 須崎有康 他
- 外気取り込みによるサーバー室空調の省エネルギー化 岡本昌幸 他
- スイッチベースの認証ネットワークへのシングルサインオン機能の実装と評価 藤村喬寿 他
- 大規模データセンターにおけるシステム構成情報の高速収集方式の提案 坂下幸徳 他
- 大規模サーバー間の部品依存関係を利用したユーザー指向通知方式 敷田幹文 他
- コンテンツ表示のディペンダビリティを向上したデジタルサイネージ監視システムの開発 坂田浩二 他
- 京都女子大学における全学情報教育とそれを支える情報システムの変遷に関する考察 宮下健輔 他
- An Adaptive Route Selection Mechanism Per Connection Based on Multipath DNS Round Trip Time on Multihomed Network Yong Jin 他

【特集：エンタテインメントコンピューティング】

- 特集「エンタテインメントコンピューティング」の編集にあたって 稲見昌彦 他
- 視聴者協力型ライブ演出システムの実装と評価 米澤拓郎 他
- 昆虫音声を用いたスマートフォンで投稿可能な環境モニタリングシステム— Chu-lingual —† 和田智晃 他
- 心の相互ケアのための Web コミュニティ「リグレット」の設計と運営 チェン ハンロン ドミニク 他
- クラブ系ループ音楽パフォーマンスのためのリアルタイムに音楽を Breeding するシステム 安藤大地 他
- 起立・着席訓練のためのリハビリテーション用シリアスゲームの研究開発 松隈浩之 他
- PocoPoco : 実物体の動きを利用した楽器演奏インタフェース 金井隆晴 他
- 複数のモバイルデバイスを九十九神と見立てるインタラクティブメディアアート: 九 i 九 i 九 神田 竜 他
- FuSA2 Touch Display : 大画面毛状マルチタッチディスプレイ 中島康祐 他
- 温冷呈示を利用したビデオゲームインタラクションにおける手法の検討と開発 馬場哲晃 他

- 電気味覚による味覚変化と視覚コンテンツを連動させたエンタテインメントシステム 中村裕美 他
- テーブルトップ環境における新しいロボットプログラミング手法の提案 藤田智樹 他
- コマを拡張するテーブルトップシステムの開発 的場やすし 他
- Holly : ステンシルデザインのためのドローエディタ 五十嵐悠紀 他
- ステージのメタファに基づく音楽インタラクションシステム 明神聖子 他

【一般論文】

- 共通性分析のためのソフトウェア分類手法の提案 岸本康成 他
- 競合回避機構を備えた高互換かつ高精度な境界検査手法 荒堀喜貴 他
- プログラム実行履歴を用いたオブジェクト生成関係の可視化 中野佑紀 他
- Visual Query Language for Archetype-Based Electronic Health Records Databases Shelly Sachdeva 他
- 相関性のあるデータを集約する無線センサネットワークにおけるシンクノード決定問題の近似解法 佐野渉二 他
- MapReduce プログラミングモデルに即した Reduce フェーズの Data Skew 動的緩和手法 中山 誠 他
- The Worst-Case Response Time Analysis for FIFO-based Offset Assigned CAN Messages Yang Chen 他
- PNEMO : a Network-Based Localized Mobility Management Protocol for Mobile Networks* Tetsuya Arita 他
- A Decision Making Model and Its Application to Airplane Accidents Tetsuo Iijima 他
- Joint Phrase Alignment and Extraction for Statistical Machine Translation Graham Neubig 他
- 楽譜情報からの作曲家らしさ認識のための音楽特徴量の提案 長谷川隆 他
- 舞踊学習用 CG におけるカメラワーク生成のためのショット決定手法 柴田 傑 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note





新刊!!

**ITText
メディア学概論**

山口治男 著
A5判/172頁/本体2,400円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピュータ**

河村一樹・和田 勉・山下和之・立田ルミ・
岡田 正・佐々木整・山口和紀 共著
A5判/176頁/本体2,200円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とネットワーク社会**

駒谷昇一・山川 修・中西通雄・北上 始・
佐々木整・湯瀬裕昭 共著
A5判/192頁/本体2,200円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報と社会**

駒谷昇一 編著
A5判/220頁/本体2,500円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報システム基礎**

神沼靖子 編著
A5判/228頁/本体2,500円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング**

河村一樹 編著
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・
向井信彦 共著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム 

鹿野清宏・伊藤克亘・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)

ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収久・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText 人工知能

本位田真一 監修 松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText データマイニングの基礎

元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著
A5判/292頁/本体3,200円(税別)

ITText 自然言語処理

天野真家・石崎 俊・宇津呂武仁・成田真澄・福本淳一 共著
A5判/192頁/本体2,500円(税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText 分散処理

谷口秀夫 編著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText Linux演習

前野謙二・落合 昭・生野荘一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著
A5判/224頁/本体2,500円(税別)

ITText インターネットプロトコル

阪田史郎 編著
A5判/272頁/本体2,800円(税別)

ITText 組込みシステム

阪田史郎 著 高田広章 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText システムLSI設計工学

藤田昌宏 編著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText Java基本プログラミング

今城哲二 編 布広永示・マッキン ケネスジェームス・
大見嘉弘 共著
A5判/234頁/本体2,500円(税別)

ITText 人画像処理

越後富夫・岩井儀雄・森島繁生・鷺見和彦・井岡幹博・
八木康史 共著
A5判/258頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報理論

白木善尚 編 村松 純・若田賢一・有村光晴・渋谷智治 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText Java/UMLによるアプリケーション開発

布広永示・高橋英男 共著
A5判/208頁/本体2,600円(税別)

ITText Javaオブジェクト指向プログラミング

布広永示 編著
A5判/280頁/本体2,800円(税別)

ITText ユビキタスコンピューティング

松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/222頁/本体2,800円(税別)

ITText HPCプログラミング

寒川 光・藤野清次・長嶋利夫・高橋大介 共著
A5判/246頁/本体2,800円(税別)

ITText 確率統計学

須子統太・鈴木 誠・浮田善文・小林 学・後藤正幸 共著
A5判/264頁/本体2,800円(税別)

ITText 離散数学

松原良太・大鷲彰昇・藤田慎也・小関健太・
中上川友樹・佐久間雅・津垣正男 共著
A5判/256頁/本体2,800円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報ネットワーク**

岡田 正・駒谷昇一・西原清一・水野一徳 共著
A5判/160頁/本体2,300円(税別)

お申し込みは



101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233) 0641 FAX 03(3293) 6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格(税別)は変更する場合があります。

書評・会議レポート募集のお知らせ

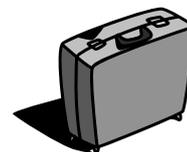
情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評：過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 1) 表題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Faxなど）の記載を忘れずに。
- 3) 本文：書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆のご案内 / 書評・会議レポート」(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>)を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会／応募先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告をIPSJメールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配信数：約9,000通（原則毎週月曜日配信）
- 読者層：本会会員および非会員
- 形式：テキストのみ。等幅半角70字×5行。URLを入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲載料：ヘッダ：1回52,500円（税込）
フッタ：1回21,000円（税込）
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申込先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13:00～17:00

会場：○○コンベンションセンター

会費：情報処理学会会員の方には割引があります。

詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、1月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「常識」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 実生活に密着した内容なのでハッとさせられた。(匿名希望)

■ 経験に裏打ちされた文化ギャップに関する記述である点は評価できるが、研究者の世界でもあれこれ国際的にやり合っている点からみると、「何をいまさら」という気もする。(匿名希望)

3.11 大震災特別企画「震災等の大規模災害における情報活用」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 記事の中で共通 ID に触れられていました。個人情報保護との関係でいつもブレーキが掛けられていますが、3.11 を経験した日本において早期の導入を期待しています。(匿名希望)

■ 意味がある記述は、末尾近くの「被災地での教訓を元に、現在各地で進められている医療情報化等の取り組みを今一度見直し」のみに感じた。政府・官僚が拝聴する文書と、私たち一般人が納得する文書は異質であることを再認識した。(匿名希望)

特集「冬休みチュートリアル：スマートフォンプログラミング 2」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 3 記事とも良かったです。(中村吉勝)

■ 「2. Android によるセンサプログラミング」には ADK についての記述があっても良かった。(中川友紀子)

■ 「3. Windows Phone によるセンサプログラミング」は良かったが、詳しく開発環境の使い方を含めて解説してあったのが良かった。ただ、このようなかなり特定の読者向けの記事がこの場にふさわしいかは疑問に思います。(武田晴登)

■ 興味のある分野で大変良かったが、3つのOSをターゲットにしていたせいか、1つ1つの内容が少々物足りない気もした。(南保英孝)

■ 冬休みというタイミングでのスマートフォンプログラミングの特集は、前回と同様に良かった。『情報処理』にもこのような一般向け記事がこれぐらいの時期にあるのはいいと思う。もっとページ数があってもいい。(五味 弘)

■ 現在自分でコードを書くことがほとんどないので、特集の各記事とも前半だけ読んだ。読み比べると、プラットフォームごとの考え方の違いなど面白く感じたので、その部分だけ誰かが概観して実装方法とは別の記事として書いてもよかったのではと思う。(米澤 恵)

解説「Imagine Cup チャレンジ—前編：Imagine Cup 入門—」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 学生さんとの交流の中で知っている程度だった Imagine Cup について理解を深めることができた。Web 等でもあまり目にしない解説記事であり、大変参考になった。(匿名希望)

■ 学生の発表の紹介がほとんどなかったのが、期待はずれでした。(武田晴登)

■ Imagine Cup チャレンジの話は、超一流のイベントという感じが伝わってきて良い。若者がこのような大会で世界観を広げるのはすばらしいことだと思った。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：コラム：主体的な学びとは…」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 著者が大学教員でないからかもしれないが、現在の大学教育について非常に卓越した記述だと思う。PBL で「お客様に喜んでもらうために」という学生の姿が書かれているが、大学発のベンチャー企業で、まったく同じ学生の感覚に毎日接している。そういう学生が、情報系の授業を何十回聞くよりずっと深く情報系の内容を理解していくことはよく分かる。このような記事で、PBL 等の実学体験の重要性を語っていただくと、情報教育全体に有意義だと思う。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：幼児教育におけるメディア活用の現状とフューチャースクールにおける小学校現場での ICT 利活用」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 幼児教育、小学校教育での ICT 活用の「先進例」等が述べられている。園務の効率化は問題ないだろうが、保育の狙いや、幼児のメディア活用には、きっちりした検討が必要だろう。メディア活用には、コミュニケーション不足や仮想現実の日常化による害悪が多く語られている。このあたりをどのように考えるのか？ 小学生を実験対象にすることの意味や危険性は？等が気になった。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：生徒・児童によるプログラミング」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ 新しい気付きが得られた。(米澤 恵)

■ 小学生時代からプログラミングの面白さに触れることができる機会や場所がある。その面白さを雰囲気を感じ、見つけ出せる場所がある。とても羨ましいことである。(匿名希望)

■ ビスケットの話は面白く書かれているし、それなりの意味を感じさせる記事だ。しかし、タブレットやPCでビスケットによって円を書いている子どもの将来は？となると非常に不安になる。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：東京オリンピックの情報システム・プロジェクトを回想して」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■情報処理学会誌ならではの感じの記事だったので、非常に楽しく、IBMカードやCOBOL言語のコードなどをイメージしながら読むことができた。私自身が、陸上競技関係で地方の大会にPC処理を導入しようとしたが、ネットワーク等から非常に困難があることを経験したので、東京オリンピック時の話は実に面白かった。(匿名希望)

報告「バグウォッシュ会議を覚えていますか？」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■バグウォッシュ会議は大学院時代を思い起こさせる名前だ。ただ、昔と違って、バグウォッシュ会議の知名度も低くなっており、具体的活動につながらないと意味を消失しているのではないだろうか？ そういう疑念を解消するには、本報告は力不足だったと思う。(匿名希望)

コラム「"見聞録：USENIX Security'11」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■USENIXシンポジウムの報告は、テーマとしては面白いし、重要なものだと思う。ただ、主な議論や、発表された論文等の方向性をまとめてほしかった。(匿名希望)

■最終ページの「所感：採録論文に見習うこと」は、どの分野の研究者でも参考になる話だと感じた。(匿名希望)

学会活動報告「本会が発行する定期刊行物について」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■情報処理学会が刊行していた英文論文誌等々の名称が出てきて懐かしかった。ジャーナル・定期刊行物を刊行する場合、①外国と競争できる質を確保した専門的英文論文誌、②大学院の学生等で、一通りの研究発表をしたい場合や、現在の『情報処理』に掲載の研究会推薦の学位論文等を掲載する

半学術誌、③現在の『情報処理』的な、情報系各分野の周知・広報的側面を併せ持つ学会誌、あたりに再編するのがいいと思います。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■教育に関する論説が、教育コーナーとして常設化されました。教育に携わる者として、とても参考になります。(水野光朗)

■「会員の広場」がいつもいいなと思っています。好意的な意見も厳しい意見も学会誌の読み方を教えてもらっている気がします。一番充実しているのかも。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■『情報処理』は全体的にページ数が少なく、隔月刊でもいいかと思います。トレンドの内容はWebなどで補完することでもよいと思います。(五味 弘)

■Java、フレームワークの今後の展開などの最新技術動向、現在との違いなどを特集してほしい。(中村吉勝)

■身近なものに実装されている情報システムの記事があると嬉しい。また、今回のスマートフォンプログラミングのように実装の概要を教えてくれる記事もあるともっと嬉しい。(平林健二)

■スマートフォンプログラミングなど、新しい研究を始めるきっかけになるような特集は今後も期待しています。機械学習、画像処理、信号処理、SNS構築、AI、ネットワーク解析、ヘルスケアITなどについても、入門と最新の話題等の特集があったら、興味深く読ませていただきます。Make: Tokyo Meeting 07のレポート記事も期待したいです。(武田晴登)

【本欄担当 掛下哲郎、江田毅晴／書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	東海支部平成23年度学生論文奨励賞募集 http://www.ipsj-tokai.jp/	3月15日(木)		
	論文誌「教育とコンピュータ」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-CE.html	3月19日(月)		
	論文誌「情報通信社会の新潮流をつくるモバイル通信と高度高速システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-MBL.html	3月31日(土)		
	論文誌「より豊かで安心・安全な社会を実現するためのコラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-GN.html	4月9日(月)		
	論文誌「使うシステムから使えるシステムへ」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IS.html	4月16日(月)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-DPS.html	5月7日(月)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SE.html	5月7日(月)		
	論文誌「音声ドキュメント処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SLP.html	5月31日(木)		
	論文誌「危機管理の視点を考慮したインターネットと運用技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IOT.html	6月18日(月)		
	論文誌「音楽情報処理の新展開(音楽情報科学研究会20周年記念特集)」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-MUS.html	7月2日(月)		
3月15日(木)～	インタラクティブ2012 http://www.interaction-ipsj.org/2012/index.html	11月11日(金)	2月13日(月) 当日可	日本科学未来館
3月16日(金)～	第181回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim181.html	1月11日(水)	当日のみ	東京工業大学
3月15日(木)～	第119回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is119.html	1月12日(木)	当日のみ	専修大学
3月16日(金)～	第88回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro88.html	1月13日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所
3月15日(木)～	第175回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se175.html	1月20日(金)	当日のみ	化学会館会議室
3月16日(金)～	第8回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html	1月20日(金)	定員になり次第	慶応義塾大学 湘南藤沢キャンパス
3月15日(木)～	第16回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot16.html	1月30日(月)	当日のみ	北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟
3月16日(金)～	第48回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its48.html	1月20日(金)	当日のみ	電気通信大学 (東京都調布市)
3月16日(金)～	第114回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce114.html		当日のみ	明星大学
3月17日(土)	第167回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics167.html	2月10日(金)	当日のみ	名古屋大学
3月21日(水)～	第147回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci147.html	1月20日(金)	当日のみ	JAIST 東京サテライト (品川)
3月22日(木)～	第83回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn83.html	1月26日(木)	当日のみ	電気通信大学
3月22日(木)～	第133回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc133.html	1月24日(火)	宿泊申込が必要	有馬ビューホテル うらら
3月26日(月)～	第23回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec23.html	1月31日(火)	当日のみ	ポートアイランド 臨床研究情報センター
3月27日(火)～	第106回情報基礎とアクセス・第85回デジタルドキュメント合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat106dd85.html	1月31日(火)	当日のみ	白百合女子大学 (東京都調布市)
3月27日(火)～	第191回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc191.html	1月27日(金)	当日のみ	長崎大学
3月28日(水)～	第28回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio28.html	2月10日(金)	当日のみ	東北大学
3月29日(木)～	第37回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eva37.html	1月27日(金)	当日のみ	会津大学
5月7日(月)～	第192回計算機アーキテクチャ・第121回システムソフトウェアとオペレーティング・システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc192os121.html	3月12日(月)	当日のみ	サンマリーナホテル (沖縄)
5月10日(木)～	第57回コンピュータセキュリティ・第17回インターネットと運用技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec57iof17.html	3月7日(水)	当日のみ	秋田大学 手形キャンパス
5月11日(金)	第140回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al140.html		当日のみ	愛媛大学
5月14日(月)	東海支部特別講演「日本再生に求められること」 http://www.ipsj-tokai.jp/			ルブラ王山 (愛知県名古屋市)
5月16日(水)	第56回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip56.html	2月22日(水)	当日のみ	国立情報学研究所

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
5月16日(水)～	先進的計算基盤システムシンポジウム (SACSIS2012)			神戸国際会議場
5月18日(金)	http://sacsis.hpcc.jp/			
5月17日(木)～	第84回グループウェアとネットワークサービス・	3月9日(金)	当日のみ	千葉工業大学 or 千葉
5月18日(金)	第3回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会			大学 or NTT横須賀の
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn84spt3.html			いずれか(未定)
5月21日(月)～	第176回ソフトウェア工学・第25回組込みシステム合同研究発表会		当日のみ	早稲田大学
5月22日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se176emb25.html			
5月21日(月)～	第151回マルチメディア通信と分散処理・	3月11日(日)	当日のみ	沖縄県青年会館
5月22日(火)	第62回モバイルコンピューティングとユビキタス通信合同研究発表会			
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps151mbl62.html			
5月23日(水)～	第182回コンピュータービジョンとイメージメディア研究発表会	3月10日(土)	当日のみ	中京大学
5月24日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim182.html			
5月23日(水)～	The Sixth International Conference on Mobile Computing and			沖縄
5月25日(金)	Ubiquitous Networking (ICMU 2012)			
	http://www.icmu.org/icmu2012/			
5月26日(土)	第94回人文科学とコンピュータ研究発表会	3月26日(月)	当日のみ	同志社大学
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch94.html			東京オフィス
5月30日(水)～	第156回システムLSI設計技術研究発表会	3月12日(月)	当日のみ	北九州国際会議場
5月31日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm156.html			
7月4日(水)～	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2012)	3月9日(金)		山代温泉ホテル百万石
7月6日(金)	シンポジウム			
	http://www.dicom.org/2012/cfp.html			
7月16日(月)～	The 2012 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2012)			トルコ (イズミール)
7月20日(金)	http://snowman.nagaokaut.ac.jp/saint/			
8月27日(月)～	CollabTech2012 6th International Conference on Collaboration Technologies			北海道大学国際
8月29日(水)	http://www.collabtech.org/			交流会館
8月29日(水)～	DAシンポジウム2012			下呂温泉水明館
8月30日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2012.html			
9月4日(火)～	FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム			法政大学
9月6日(木)	http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/			小金井キャンパス
11月7日(水)～	The Seventh International Workshop on Security (IWSEC2012)			九州大学 西新プラザ
11月9日(金)	http://www.iwsec.org/			
11月11日(日)～	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議			つくば国際会議場
11月15日(木)	http://www.icpr2012.org/			
2013年				
3月6日(水)～	情報処理学会 第75回全国大会			東北大学
3月8日(金)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/75/			川内キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 2月21日 論文誌「ソフトウェア工学」特集 論文募集
- 2月15日 人材募集情報 (Vol.53 No.3)
- 2月01日 2012年度代表会員選出の投票について
- 2月01日 2012年度役員改選の投票について
- 2月01日 論文誌「音楽情報処理の新展開 (音楽情報科学研究会 20周年記念特集)」特集 論文募集
- 1月27日 大学入試センター試験における「情報」出題の提言
- 1月25日 JIP 掲載料無料化延長のお知らせ

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■株式会社豊田中央研究所

募集人員 (1), (2)客員研究員 (最長3年, 1年ごとの更新) 各1名
 職務内容 (1)社会システムシミュレーションの基盤開発
 (2)産業構造分析および企業価値分析に関する学際的研究
 専門分野 (1)情報工学, 社会学, 創造工学, 情報数理, 技術経営学
 (2)経済学, 経済物理学, 経営学, 統計学, 情報工学, 技術経営学
 応募資格 (1)応用研究に興味があり, シミュレーション全般に興味を有する修士以上の方
 (2)応用研究に興味があり, データ分析等の基本スキルを有する修士以上またはMBAの方
 着任時期 2012年4月1日~ (応相談)
 提出書類 履歴書, 職務歴 (研究実績), 論文リスト, 主要論文別刷 (コピー可)
 応募締切 順次選考
 送付先/照会先 〒480-1192 愛知県長久手市横道41-1 (株)豊田中央研究所 人事室 採用担当
 E-mail:saiyo@mosk.tytlabs.co.jp Tel(0561)63-6509 Fax(0561)63-5744

■電気通信大学大学院情報システム学研究科

募集人員 テニユア・トラック助教 1名
 所属 社会知能情報学専攻
 専門分野 ソフトウェア工学
 担当科目 社会知能情報学基礎1または2
 応募資格 採用時に博士の学位を有しており, かつ, 上記専門分野において優秀な研究をしていること (詳細は下記Webページを参照のこと)
 着任時期 2012年7月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)応募申請書類 (履歴書, 研究業績リスト), 下記Webページから応募申請書の様式をダウンロードし, 記入してください。
 (2)主要著書, 論文別刷 (5編以内, コピー可), (3)これまでの研究概要, (4)今後の研究計画概要, (5)教育に関する経験, 理念, 抱負,
 (6)参考となる意見を伺える方2名のお名前, 所属, 連絡先住所 (E-mail アドレスを含む), および応募者との関係
 ※ (3)~ (5)は, 各A4用紙2枚以内
 応募締切 2012年3月30日 (必着)
 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報システム学研究科 (西10号館2F) 事務室
 「システム設計基礎学講座教員応募書類在中」と朱書し簡易書留, 併せて, 発送の旨を下記照会先へE-mailにてお知らせください
 照会先 社会知能情報学専攻システム設計基礎学講座 教授 大須賀昭彦 E-mail:ohsuga@is.uec.ac.jp Tel(042)443-5605
 その他 詳細はWebページ (<http://www.is.uec.ac.jp/event/kobo/pdf/ss-1201.pdf>) をご覧ください

■大妻女子大学社会情報学部

- 募集人員 教授または准教授 1名
所 属 社会情報学科情報デザイン専攻
専門分野 情報処理
担当科目 情報基礎数学, 情報処理機器概論, 計測・制御論, データベースデザイン, 画像情報処理論および演習, 社会情報学ゼミナール, 卒業研究など
応募資格 出身学部は問わないが, 博士の学位を有するか, またはそれと同等以上の教育・研究業績があつて教育・研究・学生指導に熱意があること
着任時期 2013年4月1日
提出書類 (1)履歴書(押印のこと), (2)研究業績リスト(学术论文(査読の有無を明記), 解説, 著書, 教科書, その他を区分すること), (3)主要論文別刷(3編(各1部), コピー可, その要旨を各A4用紙300字程度にまとめて添付すること), (4)着任後の教育および研究に関する抱負(各A4用紙800字程度), (5)応募者の研究業績や人物を熟知しており照会が可能な方2名の名前とその連絡先
※ (1), (2)は本専攻指定の書式に準拠のこと
応募締切 2012年5月11日(必着)
送付先/照会先 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1 大妻女子大学社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻主任 本郷 健
E-mail: id1-saiyou25@ml.otsuma.ac.jp 「教員応募書類在中(情報系)」と朱書き簡易書留
*応募書類は原則として返却しませんが, もし返却希望があればその旨応募の際に書き添えてください
そ の 他 詳細は大学Webページ (<http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/academy/recruit.html>) をご覧ください
また, 本専攻指定の書式(履歴書, 研究業績リスト)も同じWebページからダウンロードしてください

■富山大学工学部知能情報工学科

- 募集人員 准教授または講師 1名
専門分野 情報通信分野
担当科目 符号理論, 情報セキュリティ, 情報ネットワークなど
応募資格 博士の学位を有し, 大学院博士課程の授業が担当できること
着任時期 2012年10月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切 2012年5月31日(必着)
照会先 知能情報工学科 唐 政 E-mail: ztang@eng.u-toyama.ac.jp Tel(076)445-6752
そ の 他 詳細は本学Webページ (<http://www.u-toyama.ac.jp/jp/employ/index.html>) をご覧ください



FIT2012 講演募集案内 第 11 回情報科学技術フォーラム

Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

【会期】2012年9月4日(火)～6日(木)

【会場】法政大学 小金井キャンパス

(東京都小金井市)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ(ISS)並びに
ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会
(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術
フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催し
ており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、
従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、
タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他
分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致します
ので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、
「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として
電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦す
る制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合
わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、
御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌へ
の推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦
されるためには、完成度の高い論文であることが求められ
ます。論文誌への推薦可否結果は、2012年6月22日(金)
に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度
を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決
定致します。

【FIT 論文表彰制度】

FIT の特徴の一つは、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、
ヤングリサーチャー賞からなる論文表彰制度にあり、以下のよ
うにまとめられます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読 会議において各分野の応募総数の 5%を上限として 優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を 選定。選定された論文の中から受賞論文 3 件程度 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2012 会期中) にて 賞金 20 万円 を船井情報科学振興財団より贈 呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを 経て選定された論文 10 件程度の中から受賞論文 7 件程度 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2012 会 期中)にて 賞金 5 万円 を FIT 推進委員会より贈呈。
ヤングリサーチャー賞	発表件数の 1.5%を上限として、2012年12月31日 現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文及び一 般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には 賞金 3 万円 を次回の FIT2013 の表彰式にて FIT 推 進委員会より贈呈。

【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2012Web サイトよりお
願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極
めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。
なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講
演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下
さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新
しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的
に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があり
ます。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8
ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下
さい。

【注 1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一
般論文として扱います(一般論文での発表となります)。

【注 2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)につ
いては、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注 3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)の選
択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注 4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で
明らかに分野違い(研究会違い)と判断された論文については、
査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト(即不採録)され
FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注 5】 FIT 査読付き論文でページ数が 4 ページ以上ない場合は
クイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなり
ます。

【注 6】 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望)でページ数が 6 ペ
ージ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査
読付き論文としてのみの査読になります。

【注 7】 御自身の論文内容と一致した分野(査読受け入れ研究会)
がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文とし
て受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込
みをお願い致します。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始 : 2012年3月 7日(水)

登録申込締切/査読用原稿の投稿締切

: 2012年4月18日(水)

査読の採否結果通知 : 2012年6月22日(金)

論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)

: 2012年6月22日(金)

最終原稿投稿締切 : 2012年7月 2日(月)

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致し
ます。論文ページ数は 2～8 ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込/投稿受付開始並びに
投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約 2 か月遅
くなります。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始 : 2012年4月25日(水)

登録申込締切 : 2012年5月24日(木)

最終原稿投稿締切 : 2012年7月 2日(月)

【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、電子情報
通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケー
ショングループ)と情報処理学会との研究会で進めます。各分
野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子
情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、☆は情
報処理学会を示します。

**FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募
集となる研究会がございますので御注意下さい。**

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

- A:モデル・アルゴリズム・プログラミング
 - A-1 ☆アルゴリズム(AL)
 - A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
 - A-3 ☆プログラミング(PRO)
 - A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)
- B:ソフトウェア
 - B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
 - B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
 - B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
 - B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)
 - B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
 - B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)
- C:ハードウェア・アーキテクチャ
 - C-1 ☆システム LSI 設計技術(SLDM)
 - C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)
 - C-3 ☆組み込みシステム(EMB)
 - C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
 - C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)
 - C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)
 - C-7 ※再生可能集積システム(RIS)
- D:データベース
 - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
 - D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
 - D-3 ※データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
 - E-1 ☆自然言語処理(NL)
 - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
 - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
 - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
 - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
 - F-1 ☆知能システム(ICS)
 - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
 - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
 - F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)
- G:生体情報科学
 - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
 - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
 - G-3 ※ME とバイオサイバネティクス(MBE)
 - G-4 ※医用画像(MI)
 - G-5 ※身体性情報学(IEB)
- H:画像認識・メディア理解
 - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
 - H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)
- I:グラフィクス・画像
 - I-1 ☆グラフィクスと CAD(CG)
 - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
 - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
 - I-4 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
 - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
 - J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)
 - J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
 - J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
 - J-6 ◇ヒューマンプロンプト(HPB)
- K:教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
 - K-1 ※教育工学(ET)
 - K-2 ※サイバーワールド(CW)
 - K-3 ※マルチメディア情報ハンディンク・エンリッチメント(EMM)
 - K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
 - K-5 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
 - L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
 - L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
 - L-3 ☆システム評価(EVA)
 - L-4 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)
 - L-5 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)
- M: ユビキタス・モバイルコンピューティング
 - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
 - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
 - M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)
 - M-4 ☆高度交通システム(ITS)
 - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)

M-6 ※ユビキタスコンピューティング(UBIC)

- N:教育・人文科学
 - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
 - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
 - N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
 - N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)
- O:情報システム
 - O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
 - O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
 - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
 - O-4 ※サービスコンピューティング(SC)

〔使用言語〕

日本語または英語

〔論文ページ数・講演時間〕

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文ページ数: 4~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望): 6~8 ページ程度
 ※3 ページ目以降から 1 ページ当り 3,000 円のページチャージ
 講演時間: 1 件 20 分(発表時間 15 分, 質疑時間 5 分)

〔講演使用機器〕

FIT 査読付き論文、FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

〔講演者の資格〕

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会, 情報処理学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(KIISE, 大韓電子工学会, IEEE/Com. Soc., IEEE/PHO, IEEE/MTT-S, IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI)の個人会員に限りま。
非会員	上記の学会会員以外の方。

〔講演参加費(税込み)〕

講演参加費は、基本原稿掲載料 2 ページ、講演料、聴講料、論文集 DVD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また、登録申込締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員(社会人)	20,000 円
学生非会員	12,000 円

〔エキストラページ費用(税込み)〕

エキストラページ(3 ページ目以降)を利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 1 ページ当り 3,000 円

〔別刷代(FIT 査読付き論文の採択者のみ)(税込み)〕

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷(100部)を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無に関わらず 20,000 円となります。

〔講演者予稿分冊頒布〕

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り、8,000 円で、講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 12,000 円、団体購入の場合 15,000 円となります。

〔最新情報確認のお願い〕

FIT2012 に関する最新情報は、FIT2012Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

CONTENTS

Preface

The Broadcasters' Assignment
Hitoshi KUSANO (Kusano Hitoshi Office, Inc.)

Special Features

ICT to Vitalize Japan

- 354 0. Foreword
Tomoyuki YASHIRO (Chiba Institute of Technology)
- 356 1. Counter-disaster Infrastructure for Public-academic Partnership against Mass Disasters
Takashi OKUMURA (National Institute of Public Health, Japan)
- 360 2. ICT for Sustainable Relation
Hiroki ISHIZUKA (The Univ. of Tokyo), Yusuke DOI (Toshiba Corp.) and Hisakazu HADA (Keio Univ.)
- 365 3. System Development by University-private Collaboration - Toward a Multilingual Communication Support at a Medical Site -
Takashi YOSHINO (Wakayama Univ.)
- 369 4. Security Development and Market Techniques for Smart Phone Application - Crisis to Japanese ICT Brands -
Mariko KITAJIMA (Sony Ericsson Mobile Communications (USA) Inc.)
- 373 5. Trend Survey of Indoor Positioning Technology for the Smart Phone and Introduction of New Technology
Shinichiro MORI (Fujitsu Labs. Ltd.)
- 377 6. Empowering Japan by "Mottainai" Spirit
Yoshihiro KAWAHARA (The Univ. of Tokyo)
- 381 7. Encouraging Whole Generations by ICT
Susumu ISHIHARA (Shizuoka Univ.)
- 384 8. Facilitating Face-to-face Communication and Networking among Persons
Ken OHTA (NTT Docomo, Inc.)
- 387 9. Information Security That Keeps Your Chin Up
Hiroaki KIKUCHI (Tokai Univ.)
- 390 10. Information and Communication Technology for Love
Yutaka ARAKAWA (Kyushu Univ.)
- 394 11. Virtual Virtualization
Sozo INOUE (Kyushu Institute of Technology)
- 398 12. Think Childhood Dream Again - Streaming Delivery to Cheer Up Japan -
Tomoki YOSHIHISA (Osaka Univ.)

Articles

- 418 Does Every Convex Polyhedron have a Nonoverlapping Edge Unfolding?
Takashi HORIYAMA (Saitama Univ.)
- 428 The Role of IXP in Relation to IPv4/IPv6 Coexistence Situation
Yoshiki ISHIDA and Masataka MAWATARI (Japan Internet Exchange Co., Ltd.)

"Peta-gogy" for Future

- 401 Unnecessary Argument of General Information Education
Kazuki KAWAMURA (Tokyo International Univ.)
- 402 JANOG 27 Meeting Report "Do You Know JyouHou Class?"
Ichiro MIZUKOSHI (Nippon Telegraph and Telephone East Corp.) and Ken SASAKI (Sophia Research Institute, Ltd.)
- 407 Project Innovation Management Collage
Koh SATO (Japan Users Association of Information Systems)
- 411 Information and Communication Technology Education Executed by Collaboration with Industries and University
Shin-ya KOBAYASHI (Ehime Univ.)
- 417 In Visit of Kobo-daishi (3) - Bob Horner the Red Devil
Toshihiko KOTOH (Reliability Engineering Association of Japan)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 427 Create
Matu-Tarow NODA (Ehime Campus Information Services, Co., Ltd.)

Series : Shigeki Hosokawa Smartphone Apps Development Project

- 437 Request for Ideas and Technical Support
Shigeki HOSOKAWA

Column : "I" Report

- 438 Meeting on Functional Programming 2011 in Tokyo
Kazuhiko YAMAMOTO (IJI Innovation Insititute Inc.)

- 443 Mourning

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375

ご意見をお寄せください！

【4月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教員（大学・大学院）(h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2012年4月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

- 巻頭コラム：放送人の課題 10-1- []
- 特集：日本を元気にする ICT
1. 大規模災害と官学連携プラットフォームによる被災地支援の試み 10-2- []
 2. つながり続けるための ICT 10-3- []
 3. 学と民との協働によるシステム開発 10-4- []
 4. スマートフォン向け適正アプリの開発と配信サイト 10-5- []
 5. スマートフォン向け屋内測位技術の動向と新技術の紹介 10-6- []
 6. 日本を元気にするもったいない精神 10-7- []
 7. ICT ですべての世代を元気にしよう 10-8- []
 8. 人をつなぐ対面コミュニケーション支援技術 10-9- []
 9. 日本を元気にするセキュリティ技術 10-10- []
 10. 愛と ICT 10-11- []
 11. 仮想化の仮想 10-12- []
 12. 子供の頃描いた夢の再考 10-13- []
- べた語義：コラム：一般情報教育不要論？ 10-14- []
- べた語義：JANOG27 Meeting 「高校の情報の授業を知っていますか？」 10-15- []
- べた語義：イノベーション経営カレッジの取り組み 10-16- []
- べた語義：産学協働 ICT 人材育成の取り組み 10-17- []
- べた語義：お大師様を訪ねて (3) 赤鬼ボブ・ホーナー 10-18- []
- 任意の凸多面体は重ならない展開図に展開できるだろうか？ 10-19- []
- IT 好き放題：創る 10-20- []
- IPv4/IPv6 共存環境下における IX の役割 10-21- []
- 細川茂樹 アプリ開発プロジェクト：第3回 アイディア・技術求む 10-22- []
- "I" 見聞録：函数プログラミングの集い 2011 in Tokyo 10-23- []

- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。
上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- 〔11-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった
 - b) 知的興味をかきたてられた
 - c) 新たな知識を得ることができた
 - d) 内容が平易で理解しやすかった
 - e) その他（具体的に下記にご記入ください）

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕日本を元気にするICT：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事業／国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosh@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

最近、日本の ICT 業界は元気がない、とよく言われます。電器屋さんに行くところ狭しとさまざまな国産商品が並んでいるにもかかわらず、注目を集める商品が海外製だったり、ICT を活用した海外発のサービスばかりが注目を集めているためなのかと思われまます。その一方で、シンポジウムや研究会に参加してみるとまだまだ元気な研究者がたくさんいることが分かります。情報処理学会の役割として、こういったエネルギーをもっと活用して日本を元気にすることが必要なのではないかと、という考えからこの特集を企画しました。そのためもあり、技術

的なテーマを設定せず、思い付くままに執筆者に打診させていただきました。結果として、多くの方から多種多様なアイデアを文章にさせていただくことができました。ここから研究者のエネルギーの一端を感じ取っていただき、今後の研究活動のエネルギーの一助としていただければ幸いです。最後に、執筆者の方々には、お忙しい中で通常の執筆依頼とは異なるあいまいなテーマのもと、かなり無理なお願いをして執筆していただきました。この場を借りて深謝いたします。

(屋代智之／本特集ゲストエディタ)



次号 (5 月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」CGM の現在と未来：初音ミク、ニコニコ動画、ピアプロの切り拓いた世界 (仮)

メディアコンテンツ創作における CGM の現在と未来 / 歌声合成の過去・現在・未来—「使える」歌声合成のためには— / 初音ミク as an interface / ニコニコ動画の創造性—動画の 5 年間— / 日本のネットカルチャーはどこへ向かうのか

解説：可逆コンピューティング—ビリヤードボールでコンピュータが作れるか?—…………… 森田憲一
圧縮したまま検索— Succinct Data Structure —…………… 岡野原大輔

連載：細川茂樹 アプリ開発プロジェクト

教育コーナー：べた語義

コラム：“I” 見聞録 / 巻頭コラム / シニアコラム：IT 好き放題

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実役に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

広告のお申込み

■ 広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 23,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 53巻4号 掲載広告(五十音順)

- NTTソフトウェア 表4 講談社 前付最終上
 インタフェース 表2 電子情報通信学会 前付最終下
 オーム社 表2対向
- すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社ヘリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google™

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft®

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTT データ (株)



NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな？

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし！
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう！

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp